



みんなで清掃、よみがえる砂浜!!

まちづくり基金造成
4億8千400万円

CONTENTS

平成20年 第2回 定例会	2
平成20年 第1回 臨時会	4
一般質問(6人が登壇)	6
常任委員会レポート	12
傍聴者の声	15

第5代議長に西田正剛氏、副議長に杉本正一氏

5月13日の臨時会で、議会人事案件が提出され、新たな議長に西田正剛議員(62歳・浜北)、副議長に杉本正一議員(57歳・木津)が選出された。また、市民文教委員長に富澤明次氏が選出された。



就任の挨拶

議長 西田 正 剛

議員の皆様のご推挙によりまして、かほく市議会議長に就任いたしました。身に余る光栄とともに、責任の重大さを痛感しております。
浅学菲才の身でございますが、愛する郷土かほく市の発展のため、そしてかほく市議会の更なる活性化に向かって誠心誠意頑張る所存でございます。
市民の皆様には、今後とも議会へのご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



就任の挨拶

副議長 杉 本 正 一

副議長の大役を仰せつかり、身に余る光栄であり、身の引き締まる思いであります。
微力ではありますが、議長の補佐役として、かほく市並びに市議会の益々の発展に一生懸命頑張っていきます。
今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

次の定例会は、9月です。 議会を傍聴しませんか。

●本会議・常任委員会の傍聴ができます。
本会議は30名、常任委員会は8名の定員で受付順となります。

定例会はケーブルテレビのかほくチャンネルで、本会議の生中継・録画が見られます。



[インターネットを接続している方へ]
議会は、かほく市ホームページで、次のとおり紹介しています。ぜひご覧ください。

映像ライブラリ [開催の当日に生中継]
市ホームページ→映像ライブラリ
→見るの順で開いてください。

なお、ご覧になる場合は、ホームページに記載されている推奨環境が必要です。
<http://www.city.kahoku.ishikawa.jp>

●総務常任委員会

委員長	山口博之丞
副委員長	宇野 順一
委員	杉本 成一
	西田 正剛
	中村 修一
	多々見 武

●産業建設常任委員会

委員長	金田 正信
副委員長	遠田 順
委員	別宗 明敏
	猪村 博靖
	山田 孝一
	荒井三喜雄

●行政改革特別委員会

委員長	竹内 幹雄
副委員長	猪村 博靖
委員	山田 孝一
	中村 修一
	沖津 千万人
	多々見 武
	遠田 順

●議会運営委員会

委員長	中村 修一
副委員長	荒井三喜雄
委員	別宗 明敏
	富澤 明次
	金田 正信
	山口博之丞

●市民文教常任委員会

委員長	富澤 明次
副委員長	安達 肇
委員	寺内 照雄
	竹内 幹雄
	沖津 千万人
	杉本 正一

●広報特別委員会

委員長	宇野 順一
副委員長	安達 肇
委員	山田 孝一
	杉本 正一
	富澤 明次
	多々見 武
	遠田 順

議会の組織

議長 西田 正剛

副議長 杉本 正一

平成20年 第2回 定例会

会期 6月10日～6月20日

平成20年6月10日から11日間の会期で第2回定例会が行われ、平成20年度一般会計補正予算など14議案について審議し、原案のとおり可決・承認した。また人権擁護委員の諮問について、原案のとおり同意した。



まちづくり基金造成 4億8千400万円

基金については

合併特例債を活用し、将来の財政負担に対処するため、4年間で約19億円を積み立てるもの。

一般会計補正予算 (第1号)

福祉巡回バス事業 1千388万円を増額

歳入歳出をそれぞれ6億5千20万円を増額するもの。
(全員賛成)

歳入の主な内容

●国庫支出金(国から)

地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金2千500万円、地方道路整備臨時交付金(雪害)2千880万円、建設機械整備費補助金1千873万円、地域住宅交付金144万円、住民基本台帳電算処理システム改修費交付金104万円、その他60万円を増額。

●県支出金(県から)

住宅建築物耐震化促進事業補助金44万円、その他86万円を増額。

●寄附金

社会福祉費寄附金83万円、その他5万円を増額。

●繰入金

老人保健特別会計繰入金

488万円を増額。
●繰越金
前年度繰越金6千550万円を増額。

●諸収入

防犯灯設置等協力金260万円、その他32万円を増額。

●市債

合併振興基金積立事業債4億5千980万円、雪害対策事業債1千690万円、消費維持管理事業債1千350万円、除雪対策事業債890万円を増額。

歳出の主な内容

●総務費

庁舎整備推進事業210万円、基金積立金4億8千400万円、防犯施設整備事業260万円、戸籍住民基本台帳事務費125万円、その他1万円を増額。

●民生費

宇ノ気老人福祉センター管理運営事業368万円、地域介護・福祉空間整備等施設整備事業2千500万円、その他190万円を増額。

●衛生費

ごみステーション推進事業272万円を増額。

○工事請負契約の締結について

契約の目的

かほく市防災無線整備事業デジタル同報無線システム構築工事

契約の方法

制限付き一般競争入札
契約金額 2億8千875万円
契約の相手方
金沢市本町1丁目5番2号
富士通ネットワークソリューションズ株式会社
北陸支店
支店長 大村 誠
(以上10件、全員賛成)

諮問

○人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

坂野 俊紀氏(白 尾 遠藤他代美氏(七 窪 (以上2件、全員賛成)

特別会計補正予算

◇下水道事業特別会計補正予算(第1号)

公共下水道管理事業730万円を増額。
(全員賛成)

専決処分の主なもの

◇老人保健特別会計補正予算(第1号)

4千12万円を増額。
(全員賛成)

条例制定

○まちづくり基金条例の制定

総合計画に基づき、実施を予定している事業に対し、基金を設置し、財源の確保を図るため制定するもの。
(全員賛成)

条例改正など

○税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律並びに関係省令の改正に伴い条例を改正するもの。

○心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

後期高齢者医療制度の創設に伴い、健康保険法等が一部改正されたことにより、老人保健法が大幅に改正され、当該条例にて引用している題名と条項を改正するもの。

○石川県市町村職員退職手当組合規約の変更について

石川県市町村職員退職手

当組合を組織する「白山石川医療施設組合」が「白山石川医療企業団」に名称を変更したため、規約の一部を改正するもの。

○河北郡市斎場施設組合の解散に伴う財産処分について

河北郡市斎場施設組合を解散し、当組合の財産を「河北郡市広域事務組合」へ引き継ぐため、津幡町及び内灘町と協議することについて、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの。

○財産の取得について

契約の目的

○市道の路線変更について

かほく市土地開発公社が造成した「かるがの団地」内の道路を、既存市道である狩鹿野6号線と接続して、新たに認定しなおすもの。

○工事請負契約の締結について

契約の目的

(仮称) かほく市立高松北部保育園建設工事(建築)

契約の方法

制限付き一般競争入札
契約金額 2億9千715万円
契約の相手方
豊蔵・沢野特定建設工事共同企業体
代表者
金沢市長土塀3丁目13番8号
株式会社 豊蔵組
取締役社長 豊蔵 世紀

外日角小学校 耐震工事に着手



平成20年5月13日、会期1日で開催。平成19年度一般会計補正予算の専決処分など10議案について審議し、原案のとおり承認した。同意案件1件についても原案のとおり同意した。

◇19年度一般会計補正予算（第9号）
年度末で精算が必要となる事業費等についての減額補正が主なもの。
◇19年度墓地特別会計補正予算（第2号）
墓地基金繰入金及び前年

度繰越金を計上して予算の組替えをしたもの。
◇19年度下水道事業特別会計補正予算（第4号）
年度末で精算が必要となる事業費等についての減額補正が主なもの。
（以上3件、全員賛成）

○国民健康保険税条例の一部を改正する条例
後期高齢者医療制度の創設に伴い、賦課額に後期高齢者支援金等課税額を新たに追加し、基礎分・後期高齢者支援金等分の算定基準を定めたもの。

○国民健康保険税条例の一部を改正する条例
地方税法等の一部改正に伴い、国民健康保険税の賦課限度額を基礎課税額分47万円と、後期高齢者支援金等分12万円とを新たに定めたもの。

条例改正など

○税条例の一部を改正する条例
中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正に伴い、個人の市民税の非課税及び減免の範囲を拡大するもの。

○手数料条例の一部を改正する条例
戸籍法の一部改正に伴い、従来、戸籍の謄本等は誰でも交付請求ができたが、本年5月から、原則として本人又は配偶者若しくは直系尊属・卑属のみとなるため、条例を改正するもの。

○工事請負契約の締結について
契約の目的
かほく市立外日角小学校耐震補強工事（建築）
契約の方法
制限付き一般競争入札
契約金額 2億2千155万円
契約の相手方
表・河北特定建設工事
共同企業体
代表者
かほく市外日角イ60番地株式会社表組
代表取締役表守活
（以上7件、全員賛成）

○農村地域における工業等の導入を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
農村地域工業等導入促進法第10条の地区等を定める省令の一部改正に伴い、固定資産税の課税免除の適用期限を平成21年12月31日まで延長するもの。

○税条例の一部を改正する条例
地方税法の一部改正に伴い、法人市民税の対象規模の定義を新たに追加するとともに、個人市民税の住宅借入金等特別税額控除等の申告時期に幅を持たせるなどについて条例を改正するもの。

同意

○副市長の選任につき同意を求めることについて
架谷外茂治氏（高松）
（全員賛成）

油野市長の所信表明

決意を新たに、元気なかほく市の 実現に取り組んで参ります



所信表明をする油野和一郎市長

3月の市長選挙においては、無投票当選という結果を頂き、改めてお礼を申し上げます。
今後は、市民からの信頼と期待にしっかりと応えるため、決意を新たに、

元気なかほく市の実現に向けて誠心誠意取り組んで参ります。
平成20年度はかほく市誕生5年目となりますが、依然として地方には厳しい局面が続いています。

道路特定財源の暫定税率廃止問題については、市民の皆様には混乱もあつたかと思いますが、衆議院の再可決により、道路事業だけでなく市政全般にわたるサービス低下という最悪の状況を回避することができました。これまで見合わせてきた地区要望の道路事業にもようやく着手できることになりました。今後は市政に必要な財源のしくみなどをしっかりと市民の皆様にも説明して参ります。2期目となるこれからの4年間、引き続き市民との対話を大切に、これまで以上の行動力で信頼される市政運営に努めていく所存であり、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

副市長に

架谷外茂治氏

これまでの発展を いかに持続させられるかが、 最も重要



副市長 架谷 外茂治氏

副市長再任においては、議員全員の同意を頂き、身に余る光栄であり、心からお礼申し上げます。
平成16年6月より4年間、助役・副市長として務めることができましたのも、議会及び市民皆様のご指導の賜ものであると改めて感謝申し上げます。

での発展をいかに持続させられるかが、最も重要な課題と考えます。
微力ですが、この課題に向け、市長の補佐役として今後も誠心誠意務めて参りたいと決意しております。皆様方には、これまで以上にご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本年、かほく市は5年目という節目の年を迎え、今後の市政運営では、これま

新しい
議会組織
決まる!!

5月13日（火）臨時会に、議会人事案件が提出され、議長に西田正剛氏（62歳・浜北）、副議長に杉本正一氏（57歳・木津）が選出された。これに伴い市民文教常任委員長に富澤明次氏（67歳・白尾）、議会運営委員に富澤明次氏、広報特別委員に杉本正一氏が選任された。
詳しくは16ページを参照

一般質問

マタニティマークの普及状況は ポスター掲示やリーフレットにより啓発



遠田 順 議員

Q マタニティマーク広報の掲示箇所とマタニティホルダーの配付状況は。また公共施設の駐車場にマークペインティングできないか。

A 油野市長 掲示箇所は、

ほのぼの健康館・各庁舎・各中学校に掲示し、生徒にはリーフレットで妊産婦への気遣いを教える。マタニティホルダーは昨年245個配付。駐車場のペインティングは本庁舎へ早期に設置。各庁舎などについては検討

し、ケーブルテレビや広報でも啓発する。
アレルギーを持つ子どもたちの対応は

ガイドラインに沿って対応

Q 市内保育園、小・中学校でアレルギー疾患の子どもたちはどれだけいるか。中でも重症な「アナフィラ



議会終了後、本庁舎に設置されたマタニティマーク

キシ」の子どもは何人いるか。給食時における食物アレルギーの子どもたちの現状把握は。

A 遠田教育長 現在、保

育園で181名、小学校で227名、中学校で165名のアレルギー疾患を持つ子どもがいる。そのうちアナフィラキシーは10名いる。就学時検診や保護者からの調査票により把握。その対応として、保育園では除去食を提供。小・中学校では食べられないものが多い時には、家庭より別のおかずを持参していただいている。

学校評価制度の取り組みは

県内でも早い時期に実施

Q 学校評価制度が設けられたが、現状の自己評価及び外部評価や結果の公表はされているか。また学校改善につながった具体例はないか。学識経験者や専門家による第三者評価を取り組む考えは。

A 教育長 平成18年度より

市内9校に制度を導入した。自己評価は年2回実施。外部評価は保護者からアンケートをとり評価資料としている。結果の公表は学校だより・保健だよりで通知している。第三者評価の取り組みは、「学校支援委員会」で行う。

※「アナフィラキシー」とは、特定の物質が原因となり全身性アレルギー反応を起こすことをいう。

Q 国の「補助金等適正化法」で「転用条件緩和」の法改正がされたが、転用可能な施設はあるのか。

A 油野市長 国の補助金施設は市営住宅・小中学校・保育園・公民館・図書館など数多くある。「概ね10年を経過した補助対象施設について、補助の目的を達成したものとみなす」と、転

地方分権化の取り組みは

「自主・自立」の自治体運営を

Q 中央政府任せにしない地方分権化推進の市の取り組みは。

A 市長 全国市長会や関係会議、協議会に

- ・制度の規制緩和や拡充
- ・合併特例債の発行年限の延長
- ・公共施設取り壊しの合併特例債の充当
- ・乳幼児医療費の助成制度（無料化）の創設
- ・海岸漂着ゴミの処理対策の拡充
- などを国に要望している。

ラジオ体操に住民参加を

参加を更に拡大したい

Q 夏休みラジオ体操の時間を地域住民と児童の触れ合いの場となるよう各種団体



平成17年に行われた夏期巡回ラジオ体操

に参加を呼びかけては。
A 遠田教育長 一部の地域では公民館事業としているところもあるが、本年は高齢者健康クラブや地区老人会、更に成人のメタボリックシンドロームを予防・改善するための一つの運動として市民へ呼びかけた。

地域にラジオ体操指導員を

指導者講習会参加を呼びかける

Q ラジオ体操指導員を養成し、地域に配置しては。

A 教育長 夏休み前の指導者講習会の参加をケーブルテレビ・広報・各種団体に呼びかけ、指導できる人を増やしていきたい。

補助金施設の転用容認について

市民ニーズを勘案し効率的に



富澤 明次 議員

用要件は緩和されたが、当該施設を利用する市民への配慮も必要。財政的な利点

一般質問

一般質問

学校支援地域本部事業に取り組む考えは 今年度から取り組みたい



中村 修一 議員

学校給食を完全 米飯に

回数増を検討し たい

Q 文部科学省が地域の教育力低下の改善や教員の勤務負担軽減のために、平成20年度から「学校支援地域本部事業」を始めている。地域と学校が一体となり、地域社会の中で子どもたちが安全で、安心して、健康に育っていく環境を整えるために効果のある事業だと考えるので、当市でも取り組むべきでは。

A 遠田教育長 市の生涯学習推進計画に合致するもの

Q 小麦価格の高騰などにより、全国各地で学校給食の値上げが実施されているが、当市の考えは。

A 教育長 完全米飯にするべきでは。工夫することによって当面給食費は据え置く。米飯は単価も高いので、今後の食品値上げの状況、安全性、地産地消、地元パン業者の育成なども考慮しながら、回数増の可能性も検討していきたい。



グーテン・ターク（青少年交流、金津小学校）

国際交流事業を どう評価してい るのか

極めて重要な事 業である

Q 国際交流事業は特に子どもたちのために大変重要な教育の一環である。また平和維持のために市民レベルの草の根交流が大切である。これまでの評価と今後の継続の意志は。

A 教育長 市にとって極めて重要な事業と考えており、これまでの取り組みについても高く評価している。今後も姉妹都市青年交流を軸とした、市民レベルの国際交流事業を続けていきたい。

◎CATV事業

Q 「かほくチャンネル」は開局当初としては、よくできており、市民の方々に見ていただきたい内容である。現在の加入件数は。また、どれくらいの加入率なら維持管理の採算が取れ、それはいつ頃になるか。

A 油野市長 5月末で加入件数は約1千800件。維持管理の採算が取れるのは4千件と試算、来年3月末までに達成を目指す。

そのための加入促進策として、新規加入者紹介キャンペーン及びSTB購入割引キャンペーンの第2弾を展開している。

Q CATV維持管理の試算に人件費は含まれているか。



安達 肇 議員



大型SCで上下水道料増収見込み

◎上水道事業

Q ここ数年の使用水量の変化と今後の予想は。また、料金は事業を維持していく上で適正な価格か。

A 市長 使用水量は平成16年度以降、345万m³前後で推移し、横ばいの状態である。今後、大型ショッピングセンターのオープンにより、5%以上の伸びが予想され、年間3千万円以上の増収となる見込みであり、引き続き現在の料金で維持できる。

◎下水道事業

Q 各家庭の下水道への接続は、下水道法によって3年以内と義務づけられている。現在の接続率は。3年を超えている未接続の割合とその対応は。今後の接続率と下水道料金は。

A 市長 接続率は、3月末現在で82%。未接続率18%のうち3年を超えているのは69%であり、アンケート調査、啓発チラシ、個別相談で、普及促進に努めている。

接続率は平成23年度に90%を超えると予想しているが、今後の老朽化に伴う維持管理費を考慮し、料金改定も考える。

Q 公共下水道事業、農業集落排水事業など、省庁が異なる事業においても、維持管理の効率化のため、協調・統合を進める考えは。

A 川島産業建設部長 低コストでの維持管理を行なうため必要だと考える。現在、農業集落排水を公共下水道に接続できないか検討を進めている。

ケーブルテレビ・上水道・下水道事業

料金徴収事業の今後は

加入促進に努め安定経営を目指す

一般質問

一般質問

自治基本条例の制定を 市民の理解度を高め検討する



猪村 博靖 議員

Q 自治基本条例を制定し、行政・議会・市民による住民自治の原則『協働・協治』を共有したまちづくりを進めるべきと考えるが、制定によるメリット、デメリットは。

A 油野市長 メリットとして、情報公開や市民委員の公募性など、市民の市政参加が保証され、市民主体の市政運営が行われる。一方、デメリットとして市民の積極的な参加が得られないと

形骸化する恐れがある。

Q 条例制定をいつごろと考えるか。

A 市長 条例の中に市民の責務も盛り込まれることから、市民活動が活発化し市民参画の機運が醸成されなければならぬ。制定時期については市民の理解度を高めるなどの努力を重ねながら検討する。

事業評価システムの 内容は

数値化された費用対効果で評価する

Q 事業評価の試行を始めたが、行政経営の上でも努力を望む。コストやタイムスケジュールを含む数値が明確となる計画案となっているか。

A 板坂総務部長 直接の事業費だけではなく、人件費、事務費等も含めた管理である。成果、貢献度についても数値化して明示する。

Q 評価の具体的システムと顧客満足度は考慮されているか。

A 市長 各事業を、数値化された費用対効果で評価し、



整備がのぞまれる多田川

『選択と集中』につなげる。顧客満足度については、成果指標の測定という形で調査、把握する。

小河川の計画的 改修整備を急げ 整備改修する

Q 市には準用河川・大谷川をはじめ、11本の普通河川がある。気屋川・多田川の改修整備が必要だ。整備改修計画は。

A 市長 水防パトロールを実施し被害が想定される箇所については、浸漬するなど防止に努めている。気屋川・多田川においては、これまでの被害発生状況、雨量などを総合的に判断し、かつ必要性を十分見極めて、段階的に整備改修する。

県立看護大インター チェンジのフル インター化は

粘り強く要望活動が続けていく

Q 民間活力を推進し、高松レストハウス・県立看護大周辺にもっと活気が出せれば、県立看護大インターチェンジのフルインター化も県当局へ要望していけるのではないか。

A 市長 学園台を含めた北部地域の活性化には県立看護大インターチェンジのフルインター化は必要不可欠であり、今後も粘り強く要望活動が続けていく。

ブルテレビや広報などを活用しながら、積極的に企業に対し働きかけていく。

高松レストハウ スの今後は

情報発信の拠点として活用していく

Q 高松レストハウスの経営の実態と今後の方針は。

A 市長 高松レストハウ



荒井 三喜雄 議員



新たに誘致された工場（横山地区）

スの売上高はピーク時の半分以下となっている。建物の改修や市特産物の店頭販売や人件費の圧縮などの経営改善を行うなどの取り組みをしてきたが、累積赤字が膨らんでいる現状である。

今後は市特産物の店頭販売の強化と市商工会とのタイアップにより繊維産業のPRと製品の展示即売を実施するなど新たな施策を展開したい。

道の駅として当市の情報発信の重要な施設であることから、今後とも利用者のニーズを的確に把握し、さらに工夫を凝らして経営改善に取り組んでいきたい。

人口増のため積極的な企業誘致を

民間の土地・空き工場などの活用で対応

一般質問

まちづくり基金に

4億8千4百万円計上

おもな質疑

(所管事項含む)

宇野委員 まちづくり基金を6月議会で計上した理由は。

板坂総務部長 本年3月に市長選挙があり当初予算は準通年型で編成したため6月議会となった。

中村委員 庁舎整備基本計画のスケジュールは。また市民の意見を取り入れる考えは。

虎谷総務課長 現在職員によるワーキンググループで検討している。今後、議会に中間報告、市民より意見を聴取していきたい。

杉本成一委員 庁舎整備計画について、検討委員会及び議会の答申が出されてから時間が経過している。基

本計画の対応が遅いのでは。
総務部長 県と新市建設計画の変更作業に時間を要したのが要因である。

杉本成一委員 まちづくり基金に4年間で合併特例債を利用して19億円積み立てる必要性は。

中田財政課長補佐 平成25年で特例期間が満了、以後地方交付税が5年間で段階的に減額される。総合計画の事業推進のため基金を積み立てるもの。

総務

常任委員会



整備が待たれる本庁舎

西田委員 まちづくり基金は非常に大きな金額であるので大胆な資金運用の考えは。

財政課長補佐 資金運用は安全な定期預金を考えているが、国債・有価証券などの購入も検討し有利な運用

に努めたい。

多々見委員 ふるさと納税について、全国津々浦々の当市出身者を調査し、勧誘方策の研究努力が必要では。このチャンスに市の現状を発信すべき。
総務課長 県外に在住している関東・関西かほく会の会員などにチラシを配布してPRに努めたい。

西田委員 昨年納税課を新設したが実績は。滞納総額は。

根布納税課長 市税全体で徴収率は上昇している。滞納は、市税・国保総額で約5億5千万円。今後も滞納分の徴収率向上に努めたい。

審査の結果

- 20年度一般会計補正予算(第1号)
- まちづくり基金条例の制定
- 税条例の一部を改正する条例
- 石川県市町村職員退職手当組合規約の変更について

(以上、全員賛成)

総務常任委員会

- 委員長 山口博之丞
- 副委員長 宇野 順一
- 委員 杉本 成一
- 西田 正剛
- 中村 修一
- 多々見 武

おもな質疑

(所管事項含む)

安達委員 七塚小学校で実施されている小学校補充学習サポーター派遣モデル事業と、今年度事業申請を行なう学校支援地域本部事業との整合性は。

遠田教育長 前者の事業は県が、後者の事業は国がそれぞれ100%の支出で行なう事業であり、地域の退職教員のサポートを受ける点で重なる部分がある。市として、その整合性を考えていく必要がある。

寺内委員 七塚小学校での補充学習は、3・4年生の算数とのことだが、その対象者及び実施方法は。基

井上学校教育担当課長 基本的に希望する児童が対象であるが、保護者の判断、

市民文教

常任委員会

学級担任のすすめで受けている児童もいる。習熟度別に、基礎コースと先に進むコースの2クラスに分け実施している。

竹内委員 特定校でモデル事業を行うことは、市内9小・中学校の平等性を欠くことにならないか。

教育長 いろいろな事業を各学校に割り当てている。また、拠点校の研究成果が全ての学校に反映されるよう取り組み、平等性に配慮している。



補充学習サポーター派遣モデル事業 (七塚小学校)

寺内委員 宇ノ気北部保育園建設予定地が土質調査・日照などにより決定したとのことだが、金津5集落区

松本市民部長 地権者への説明と並行して行う必要があり、代表区長と相談しながら進めてきた。これを踏まえ5集落区長に説明する。

沖津委員 保育園の統合は整備計画に基づき順調に進んでいると思うが、七塚地区で2小学校区にまたがった統合計画は地元の合意が得にくい。計画変更は可能か。

酒尾子育て支援課長 施設整備計画は、平成18〜37年度までの20年間、途中で見直しを行なう計画である。人口動向や民営化なども見据え、合意が得られる方向で検討したい。

杉本正一委員 給食費未納の現状と対策は。
梶学校教育課長 過去の未納額は、電話・文書による徴収努力を行ない減少したが、新たな未納分もある。引き続き回収努力を行なっていく。

富澤委員長 高松小学校の池の鯉の管理が、予算が無いことで放置されていると聞いたが、環境教育の面から問題があるのでは。

酒井教育部長 当小学校の水道使用料が多かったことから、水道を絞ったことが

審査の結果

- 20年度老人保健特別会計補正予算(第1号)
- 20年度一般会計補正予算(第1号)
- 心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 河北郡市斎場施設組合の解散について
- 河北郡市斎場施設組合の解散に伴う財産処分について
- 河北郡市広域事務組合規約の変更について

(以上、全員賛成)

市民文教常任委員会

- 委員長 富澤 明次
- 副委員長 安達 肇
- 委員 寺内 照雄
- 竹内 幹雄
- 沖津 千万人
- 杉本 正一

常任委員会レポート

小学校補充学習サポーター派遣

モデル事業を七塚小学校で実施

常任委員会レポート

議会には3つの常任委員会があり、審議の内容を報告します。

福祉巡回バス事業に

1千388万円増額

おもな質疑

(所管事項含む)

猪村委員 福祉巡回バスで購入するワゴン車は福祉に適したものになっているか。澤野商工観光課長 自動扉の装備は考えているが、スライド式ステップについては検討する。

遠田委員 福祉巡回バスと見て分かる表示などを考えているか。

また福祉巡回バス運行による市営バス利用者への対応をどのように考えているか。

商工観光課長 表示については、今後の委託業務の中で考えていきたい。
川島産業建設部長 市営バス利用者への対応については、実証実験を踏まえ、検討していきたい。

山田委員 市道字ノ気26号線で消雪管改修の詳細は。山森都市建設課長補佐 20年が経過し、老朽化・劣化に伴い散水上部より水漏れがあり、延長780メートルを取替えるもの。

いた警備を6月より週末を中心に実施する。

荒井委員 水辺公園周辺の

環境整備を国・県に積極的に要請できないか。杉本農林水産課長 河北潟周辺の生産農家や干拓土地

別宗委員 七塚中央公園内で、深夜、火を炊いた形跡とトイレの瓦の破損箇所があったが、安全管理の面でどのように考えるか。

大西都市建設課長 昨年8月に、1ヶ月間実施した夜間警備は抑止効果があった。当初夏休み期間を予定して



福祉巡回バスに転用される「はまなす号」

審査の結果

- 20年度一般会計補正予算(第1号)
- 20年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 市道の路線変更について(以上、全員賛成)

産業建設常任委員会

委員長 金田 正信
副委員長 遠田 順
委員 別宗 明敏
猪村 博靖
山田 孝一
荒井三喜雄

【お詫びと訂正】

議会、たより(第17号)の15ページの3段目の答弁に間違いがありました。関係の方々には深くお詫び申し上げ、次のとおり訂正させていただきます。
(誤)「白尾区の公園を」
(正)「県道白尾交差点から白尾IC口までを」

本会議を傍聴して

動機 以前より一度、是非傍聴したいと思っていました。

感想 市政にほんの少しではありますが、のぞく事が出来良かったと思います。熱の入った答弁に興味をもって傍聴することが出来、良い機会を得たと思います。

感想 答弁の時間が長すぎる。重複している質問があり、まとめられないのか。

動機 多様化する行政に対する市政当局の対応を知りたいため。

感想 一般質問中、再質問に一回一答方式が取り入れられ、形式的なスタイルから一問一答方式は解り易く、好感がもてた。
意見 答弁中に当局の部課長の補足答弁の機会が増える事を望む。

動機 学校のアレルギー問題の件(給食との関係)、及び上水道、下水道料金について、市の対応が聞きたかった。

感想 学校支援本部事業をかほく市でも取り組んでいただきたい。今まさにその時期にきているのでは。

常任委員会を傍聴して

動機 委員会審議がどのように行われているのか、自分の眼で確認したい。

感想 議会に於ける委員会の重要性が認識できた。また傍聴者に審議資料が用意されており、審議を理解するのに役立った。

感想 各委員の真剣な質問、丁寧な回答。はじめての傍聴でもわかりやすい。

常任委員会レポート

別宗明敏議員、猪村博靖議員が北信越表彰



別宗議員及び猪村議員がその功績に対し、北信越市議会議長より表彰状が贈られ、4月30日の全員協議会の席上、伝達が行われました。

別宗前議長の功績に感謝状



別宗前議長がその功績に対し、全国市議会議長会より感謝状が贈られ、6月10日の全員協議会の席上、伝達が行われました。

別宗明敏議員、猪村博靖議員が全国表彰



別宗議員及び猪村議員がその功績に対し、全国市議会議長会より表彰状が贈られ、6月10日の全員協議会の席上、伝達が行われました。

傍聴者の声

本会議・常任委員会を傍聴して

今回、議会を傍聴していただいた皆様に、議会に対するご意見をお聞きするためアンケートを実施したところ多くの方から回答をいただきました。

●●●●ご協力ありがとうございました。その一部を紹介します。●●●●